

## 6日 水曜

### 詩篇

66:8 国々の民よ私たちの神をほめたたえよ。神の誉れをたたえる声を響き渡らせよ。  
66:9 神は私たちのたましいをいのちのうちに保ち私たちの足を揺るがされない。  
66:10 神よまことにあなたは私たちを試し銀を精錬するように私たちを練られました。  
66:11 あなたは私たちを網に引き入れ私たちの腰に重荷を負わされました。  
66:12 あなたは人々に私たちの頭をまたがせ私たちは火の中水の中を通りました。しかしあなたは私たちを豊かな所へ導き出してくださいました。  
66:13 私は全焼のささげ物を携えてあなたの家に行き私の誓いをあなたに果たします。  
66:14 それは私の苦しみのときに唇を大きく開きこの口で申し上げた誓いです。  
66:15 私は肥えたものを全焼のささげ物として雄羊のいけにえの煙とともにあなたに献げます。雄牛を雄やぎとともに献げます。セラ  
66:16 さあ聞けすべて神を恐れる者たちよ。神が私のたましいになさったことを語ろう。  
66:17 私はこの口で神を呼び求めこの舌で神をあがめた。  
66:18 もしも不義を私が心のうちに見出すなら主は聞き入れてくださらない。  
66:19 しかし確かに神は聞き入れ私の祈りの声に耳を傾けてくださった。  
66:20 ほむべきかな神。神は私の祈りを退けず御恵みを私から取り去られなかった。

詩篇のヘブル語の題名はテヒリームと言って、それはたたえの歌を意味します。ただしそれは何も問題がなくて、楽天的に歌っているものではありません。「銀を精錬するように、私たちを練られました。」



というような、苦しみを乗り越えたところにある、たたえの歌なのです。

そこには、苦しいときの神への願いがあります。そしてその願いが聞かれたときの、「誓い」が生まれます。願いが聞かれても当たり前として、感謝もしないなら、それは傲慢というものです。

主への感謝をささげましょう。またかつての誓いは果たされているでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

